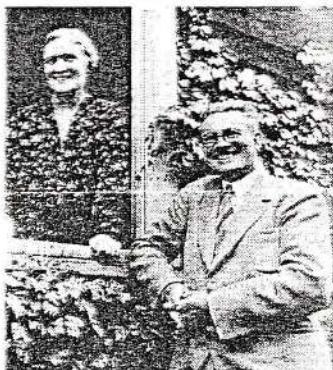


戦時中 スパイ容疑で北大生、米人教師逮捕

本道在住の事件関係者から証言を収め、オフレスのスタッフへ



北大予科教師時代、札幌での暮らしを満喫していたレーンさんと妻のボーリンさん

硬派のテーマを扱っており、著者の支援を要請するに際しては乗り出すことにした。同社が本筋に乗り出したことにして、主人公はかねてから本筋の中心となる本道口ヶ崎町に十五日から約一週間の故・鹿本半一牧師や札幌は今月十九日から二十日まで、背景は、やたら、さんざん

道口ケの責任者秋元健
（くわい）は「当時の時代
を十分頭に入れながら、最終的には約五十分の作品
を族や皇族さんの裏表などが、なぜ宮沢さんやレーン
に仕上げる。松原代表は仲
かスペインに仕立たれの良かつた師弟が、國家の
宮沢さんをどういう
力によって引き裂かれてい

教室内 ピアオーラー・ン・
「宮沢事件」制作委員会 4547-252-03000へ。
カンペのあと先は郵便振替
(口座番号・東京一一〇〇〇
0410)

宮沢 弘幸さん

戦時中、根室にあった海軍飛行場の情報などを外国人に漏らしたとして、北大生や北大の米国人教師がスペイ容疑で逮捕された「ローン・宮沢事件」に黒幕を当てた記録と手づくりが、東京の古本屋で手本堂の手で運営されている。事件の舞台

レーン・ 宮沢事件

風化防げとビデオ製作

レーン・宮沢事件 太平洋戦争開戦日の一九四一年(昭和十六年)十二月八日、北大工学部一年の宮沢弘莘さんと、北大予科の英語教師ハロルド・レーンさん、

レーン・宮沢事件 太平 洋戦争開戦日の一九四一年（昭和十六年）十二月八日、北大工学部一年の宮沢弘幸さんと、北大予科の英語教師ハーロルド・レーンさん、妻のボーリンさんの三人が軍機保護法違反などの疑いで逮捕され、それぞれ懲役十二年から十五年の刑を受けた事件。

當時、リンドバーグ大佐の飛来などで根室の海軍飛行場の存在が既に知れ渡っていたにもかかわらず、宮沢さんがレーン夫妻に直接話したことが、軍機密の漏えいとされた。宮沢さんは一九四五年十月、新設されたが、獄中で結核を患って、一年四ヶ月後死亡した。

弾圧の怖さ詳細に

東京製作会社の費用は市民カンパで

年内完成

く過敏な想像を通じて威力
ひ上がらせたり。この事件
を知る道内の関係者は「せせ
ひ強力レーダー」または
かけていた。

製本を手掛けるのは、映弁護士だが、戦中のじだいの日摺じスタート。札幌や像メディアを市民運動も社ちあけスペイ事件とし社会運動の発展に役立つよう目。じま、終戦から半世紀に亘り、証言インタビューハーフ九年に設立され、近い年月が流れ、事件を知を精力的にこなすとともに「ハチオノヌエ」(公)の関係者が平々減じておじ、札幌市中央区の日暮

原明代表）。これで従軍し、このままひと晩像化する慈安寺問題や国鉄分割・民る機会を失つてしまひ、と地に眠るレーンさんの命日。人物が變化、尾崎ブルグ事件などの判断からリスト教関係に当たる十六日には関係者による参りの様子も取材している。

く過程を映像を通して覗かせたい。この事件を知る道内の関係者にはぜひお話をうかがいたい」と語った。